

内食を主眼とした中華料理の多言語レシピ検索サイトの制作

白 雲婕

新型コロナウイルス感染拡大を契機に、消費者の社会環境と日常生活をめぐって、日常生活に大きな変化が起こった。その上、感染防止のための行動規制が長期化しており、消費者の行動や意識も大きく変わった。外出自粛やテレワークを受けて家の中で過ごす時間が増えたことなどを背景に、人々の食生活もコロナの禍で、内食需要は転換期を迎える。

内食拡大に伴う健康意識の高まりをニーズと捉え、本作品は、中華風料理を中心に簡単な本物の中華料理を自分で作れるように、本研究は、HTML の記述によって、検索エンジンが WEB ページの構造を把握する。そして、CSS でホームページの文字や背景などを、ページ内で統一し、Web ページの文字の色や大きさ、背景、配置といったスタイル（見た目）を設定する。また、JavaScript を使い、ブラウザ上で動くプログラミング言語を書き、「カーソルを合わせると表示されるメニューの設置」や「内容の並べ替え」などのことが実現する。それ以外に、中国語（簡体字・繁体字）、英語、日本語 4 種類の言語マルチランゲージを多くの人たちに読みやすいように用意されている。

本研究より、行った少人数のアンケート調査から、初めて使う人にも使いやすく、検索エンジンが文字ベースの WEB ページのため、WEB サイトの構造を把握しやすくなっていると考えられる。そして、CSS でホームページの文字や背景などを、ページ内で統一し、WEB ページの文字の色や大きさ、背景、配置といったスタイル（見た目）を設定し、また、JavaScript を使い、ブラウザ上で動くプログラミング言語を書き、「カーソルを合わせると表示されるメニューの設置」や「内容の並べ替え」などの機能も実現したと考えられる。

これにより、本作品より多文化交流を深め、外国の方たちに、本物の中華料理を自分で作れることと、内食における食事の料理の種類を富むことを期待できる。